

2018年度 前期		リフレクションペーパー					
学科名	経営ビジネス学科						
科目名	税務会計						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	3年		
必修・選択の別	選択						
担当者	成宮哲也						
授業の到達目標 (シラバスから)	会計実務というのはどのようなものかを理解する。法人税法会計で中心的課題である企業利益と課税所得の関係について理解する。租税法主義、確定決算主義といった租税法上の基本的思考が、課税所得計算にいかに関わっているのかを習得する。法人企業の課税所得の計算および法人税額の計算ができるように講義する。						
内容	4月10日 4月17日 4月24日 5月8日 5月15日 5月22日 5月29日 6月5日 6月12日 6月19日 6月26日 7月10日 7月14日 7月17日 7月24日 8月1日	第1回: 導入講義: 授業の進め方と概要の説明、成績評価法 第2回: 租税法の基本原則(租税法主義など) 第3回: 租税法の基本原則(課税要件など) 第4回: 租税法の基本原則(租税の種類など) 第5回: 租税法の基本原則(法源など) 第6回: 租税法の基本原則(租税法の解釈など) 第7回: 租税法の基本原則(租税法の解釈など) 第8回: 租税回避など法人税法の課税要件(納税義務者など) 第9回: 所得金額計算の手続など(確定決算主義など) 第10回: 法人の本質観(法人擬制説、法人実在説)など 第11回: 所得金額・益金の額と計上時期など 第12回: 益金の額・損金の額の計算 第13回: 益金の額・損金の額の計算 第14回: 別段の定め(交際費) 第15回: 定期試験(60分) 第16回: 試験の講評とレポート					
成績評価基準	定期試験(70%)、レポート(30%)						
授業到達目標の達成度	到達目標に到達した学生もいたが、到達目標に達しない学生も少なくなった。						
反省点	前年と同様のレベルで講義を行ったが、到達目標に達しない学生が多かった。理解度の確認の仕方を工夫したい。また、授業において、法人税法の条文を準備するように繰り返し話をしたが、うまく伝わらなかったようです。条文の準備をしていれば、試験の結果はもう少し良かったと思います。残念です。						
来年度の計画	具体的な事例を端緒にして説明するように試みたが、さらに工夫したい。それと税制改正の話題はできるだけ紹介するようにしたい。						
授業評価アンケートに対するコメント	わかりやすかったとのコメントがあったが、その一方で難しいとのコメントもあったので、少し難しい内容であっても説明の仕方を工夫したい。						
履修登録者数	71名	定期試験 受験者数	69名	合格者数	44名	合格率	64%